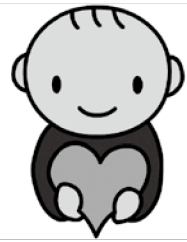


こころらぼ  
こころのラボレーション



スクールサポーター  
(臨床心理士)  
小林 真理

つながる力

観測史上最多といわれた2月の大雪。大雪が降る地域では慣れたものかもしれませんが、軽井沢ではまさに「災害」だったことは記憶に新しいところです。ただ、この雪で明らかになったこととして「つながる力」の大切さがあげられるのではないのでしょうか。生活の復旧、道路・通学路の確保など、いろいろな目的がありますが、その目的のためにたくさんの方が力を合わせて雪かきをしていました。普段は言葉を交わしたり、顔を合わせることに少ない近所や地域の方と協力し合う、様々な立場・組織・集団の方が協働するということとは、「つながる力」が目に見える形として現れたことと言えるのではないのでしょうか。大変な労力と根気のある作業だったことは、身をもって体験された方も多いはず。そいつ

た作業には参加できなくてもあの言葉や行動でサポートされていた方もたくさんいたことでしょう。

大雪のようにわかりやすい事態ではないにしろ、人と「つながる」ということは何かを解決するには、とてもシンプルで強力な方法の一つといえます。例えば、不登校や教室に行くことができない子に対する支援、なんらかの障がいがあるけれどそれぞれにあった配慮や工夫、いろいろなお子さんに合わせて必要なことをする。こういった支援も「つながる力」のひとつなのです。これは決して家庭だけでは解決できないことではありませんし、学校だけでも解決できることではありません。

とはいえ、「つながりやすい・つながりにくい」ということが生じることもあります。「伝えなくてはいけないけど、どのように伝えていけばいいのかわからない」ということは、家庭・学校・園など、お互いに求めるものはあるものすれ違ってしまうこともあります。どっちも「なんとかしたい」という気持ちがあるのに、肝心なところでつな

れないことにフラストレーションを感じていたり、つながるための突破口を見いだせないでいることが少なくありません。

どちらの味方をする、ということはないのですが、客観的にみてうまくいっている場合は目的が明確で・穏やかに・お互いの言い分を聞き入れながら・柔軟に折り合いをつける「つまり、目的はハッキリしているけど解決するまでは柔軟に粘り強く」ということができていようにみえます。また解決に向けて関わる人たちが「決めつけない態度」でいる様子も大事な要素でもあります。

話す側も聞く側も目的をハッキリと一致させることからスタートさせ、あきらめることなく解決へのプロセスを築いていくことが大切なのです。新年度を迎え、新たな人間関係や環境に身を置かれる方も多いでしょう。いろんな立場の方がそれぞれの「つながる力」に、少しでも意識して目的のために力を合わせていけるといいですね。

植物園だより

4月1日より開園

トガクシソウ



今月中旬から下旬に長野県の指定希少野生植物にも指定されているトガクシソウが見頃を迎えます。

◆4月花ごよみ

上旬 アズマイチゲ、エゾムラサキツツジ、カタクリ、シヨウジョウバカマ、ハナノキ、ミズバショウ  
中旬 オオヤマカタバミ、エイザンスミレ、キクザキイチゲ、ハルトヲノオ、ヒトリシズカ、ミツマタ

下旬 オオヤマザクラ、コガネネコノメソウ、シナノタンポポ、ナンブイヌナズナ、ニリンソウ、ミツバツツジ

※主なものを掲載

●植物観察会のお知らせ

〜絶滅危惧植物を観察しよう〜

とき 4月20日(日) 10時30分〜11時30分

講師 植物園職員

定員 20名

料金 入園料のみ

内容 植物園が取り組む絶滅危惧植物の保存活動や、見頃の植物について紹介します。

\*申し込みは不要です。  
天候状況等により時間の短縮や観察会を中止にする場合があります。

【問い合わせ】 植物園 ☎48-3337